

ニュープロ パッチ 2.25mg
 ニュープロ パッチ 4.5mg
 ニュープロ パッチ 9mg
 ニュープロ パッチ 13.5mg
 ニュープロ パッチ 18mg

【この薬は？】

販売名	ニュープロ パッチ 2.25mg Neupro patch 2.25mg	ニュープロ パッチ 4.5mg Neupro patch 4.5mg	ニュープロ パッチ 9mg Neupro patch 9mg	ニュープロ パッチ 13.5mg Neupro patch 13.5mg	ニュープロ パッチ 18mg Neupro patch 18mg
一般名	ロチゴチン Rotigotine				
含有量 (1 枚 中)	2.25mg	4.5mg	9mg	13.5mg	18 mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、ドパミン作動性パーキンソン病治療剤、レストレスレッグス症候群治療剤というグループに属する薬です。
- ・この薬は、脳のドパミン受容体を刺激することにより、パーキンソン病症状（手のふるえ、筋肉のこわばり、動作が遅い、姿勢が保持できない）や、特発性レ

ストレスレッグス症候群の症状（安静時に起こる、特に下肢を中心とした異常感覚）を改善します。

- ・ 次の病気の人に処方されます。

ニュープロ パッチ 2.25mg、4.5mg

- ・ パーキンソン病

- ・ 中等度から高度の特発性レストレスレッグス症候群（下肢静止不能症候群）

ニュープロ パッチ 9mg、13.5mg、18 mg

- ・ パーキンソン病

- ・ この薬は、体調が良くなったと自己判断し、使用を中止したり量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに使用し続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○この薬を使用すると、前兆のない突発的睡眠（前兆もなく突然眠る）や傾眠（眠気でぼんやりする）があらわれることがあります、この薬を使用中に自動車を運転し、突発的睡眠などにより自動車事故を起こした症例が報告されています。突発的睡眠や傾眠などについて、十分に理解できるまで医師の説明を受けてください。また、この薬を使用中は自動車の運転や機械の操作、高い所での作業など危険を伴う作業はしないでください。【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】に書かれていることに特に注意してください。

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・ 妊婦または妊娠している可能性がある人
- ・ 過去にニュープロ パッチに含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・ 幻覚、妄想などの精神症状がある人や過去にこれらの症状があった人
- ・ 心臓に重篤な障害がある人や過去に心臓に重篤な障害のあった人
- ・ 低血圧症の人
- ・ 肝臓に重い障害がある人
- ・ 高齢の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

使う量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の使う量および回数は、次のとおりです。

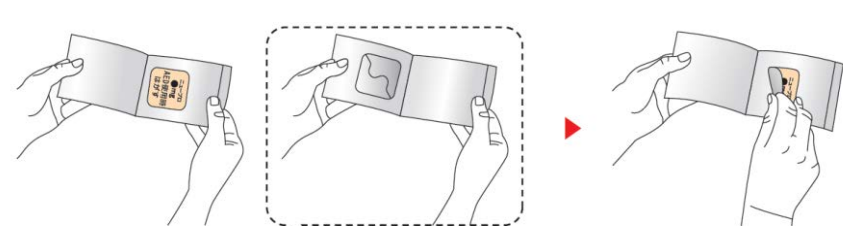
【パーキンソン病の場合】

	開始量	維持量	最高量
1日量	4.5mg	9～36mg	36mg
回数	1日1回		

〔中等度から高度の特発性レストレスレッグス症候群（下肢静止不能症候群）の場合〕

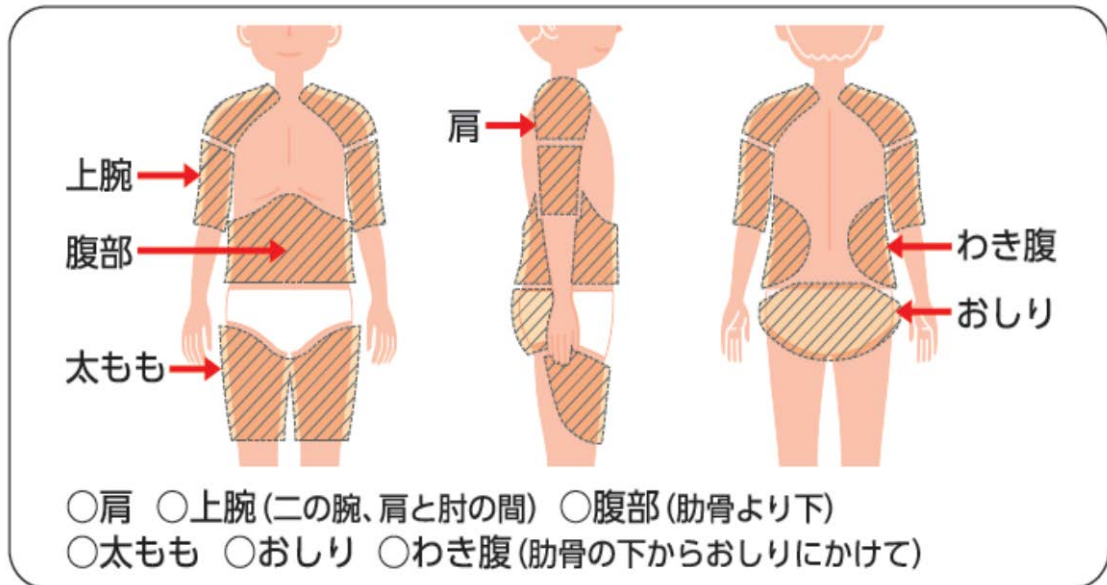
	開始量	維持量	最高量
1日量	2.25mg	4.5～6.75mg	6.75mg
回数	1日1回		

●どのように使用するか？

1	 ・貼る場所を清潔にし、水分を取り除く。 ・内部のパッチを傷つけないように、ゆっくりと袋を開封する。
2	 ※パッチが袋にくっついて袋から取り出しにくい場合は、透明フィルムをはがさないように注意しながらパッチを袋から取り出してください。 ・パッチを袋から取り出す。
3	 ・透明フィルム面を上にして切れ目にそって軽く折り曲げ、透明フィルムの片方だけをはがす。
4	

- ・貼り付ける場所に透明フィルムをはがした接着面を押し当て、もう片方の透明フィルムもはがす。
- ・20～30 秒間手のひらでパッチ全体をしっかりと押し付けて、皮膚に完全に密着するように貼り付ける。

下図で斜線をつけた部位のいずれかに貼ってください。



〔貼るときの注意点〕

- ・前日と同じ場所に続けて貼らないでください。
- ・使用中のパッチを貼ったまま新しいパッチを貼らないでください。
- ・パッチを貼る場所に保湿剤をぬらないでください。
- ・傷や皮膚病のある場所は避けてください。
- ・この薬は切って使ってはいけません。
- ・パッチを貼った後は手を洗ってください。
- ・パッチを貼った部分を直射日光やあんなかにあてたり、パッチを貼ったままサウナに入ったりしないでください。

●使用し忘れた場合の対応

決して2回分を一度に貼らないでください。

その日のうちに気づいた場合は、貼り替えてください。翌日の貼り替えは、いつもと同じ時間に行ってください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

悪心（吐き気）、嘔吐（おうと）、不随意運動、錯乱、けいれんなどの症状があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合は、すぐに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬を使用すると、突発的睡眠（前兆もなく突然眠る）、傾眠（眠気でぼんやりする）などがあらわれることがあります。突発的睡眠や傾眠等について十分に理解できるまで医師の説明を受けてください。この薬を使用中は自動車の運転や機械の操作、高い所での作業など危険を伴う作業はしないでください。
- ・この薬を使用すると、めまい、立ちくらみ、ふらつきがみられることがあります。

す。このような症状があらわれたら医師に相談してください。

- ・この薬を他の抗パーキンソン剤（レボドパ、抗コリン剤、アマンタジン塩酸塩など）と併用した場合、幻覚、妄想、錯乱などがあらわれることがあります。このような症状があらわれたら医師に相談してください。
- ・この薬を急に減量または中止すると悪性症候群（38℃以上の発熱、ふるえ、意識がうすれるなど）があらわれることがあります。このような症状があらわれたら医師に相談してください。
- ・社会的に不利な結果を招くにもかかわらずギャンブルや過剰で無計画な買い物を繰り返したり、性欲や食欲が病的に亢進するなど、衝動が抑えられない症状があらわれることがあります。患者さんや家族の方は、医師からこれらについて理解できるまで説明を受けてください。また、これらの症状があらわれた場合には医師に相談してください。
- ・レストレスレッグス症候群では、症状があらわれるのが2時間以上早くなったり、症状がひどくなったり、これまで症状がなかった部位に症状がでたりすることがあります。このような症状があらわれたら医師に相談してください。
- ・この薬を使用すると、皮膚症状（発疹、かゆみなど）があらわれることがあります。このような症状があらわれたら医師に相談してください。また、発疹や刺激反応があらわれたら、回復するまでその部分を日光にあてないでください。皮膚が変色することがあります。
- ・この薬を貼り替える際は、前日に貼った薬をはがしたことを確認してから、新しい薬を貼ってください。
- ・授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
突発的睡眠 とっばつてきすいみん	前兆もなく突然眠る
幻覚 げんかく	実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる
妄想 もうそう	根拠のない思い込み、実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる、非現実的なことを強く確信する
せん妄 せんもう	意識が乱れる、意識の混乱、実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる
錯乱 さくらん	意識が乱れる、意識の混乱、考えがまとまらない

重大な副作用	主な自覚症状
悪性症候群 あくせいしょうこうぐん	38℃以上の発熱、ふるえ、意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力が低下する、飲み込みにくい、筋肉のこわばり
肝機能障害 かんきのうしょうがい	からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐、食欲不振、かゆみ、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	38℃以上の発熱、ふるえ、からだがだるい
頭部	意識が乱れる、意識の混乱、意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力が低下する
眼	白目が黄色くなる
口や喉	飲み込みにくい
腹部	吐き気、嘔吐、食欲不振
皮膚	かゆみ、皮膚が黄色くなる
筋肉	筋肉のこわばり
尿	尿の色が濃くなる
その他	前兆もなく突然眠る、実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる、根拠のない思い込み、非現実的なことを強く確信する

【この薬の形は？】

販売名	ニュープロ パッチ 2.25mg	ニュープロ パッチ 4.5mg	ニュープロ パッチ 9mg
形状	ベージュ色の四隅が丸い正方形の貼付剤		
			
包装			

販売名	ニュープロ パッチ 13.5mg	ニュープロ パッチ 18mg
形状	ベージュ色の四隅が丸い正方形の貼付剤	
		
包装		

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ロチゴチン
添加物	ポビドン、ピロ亜硫酸ナトリウム、パルミチン酸アスコルビン酸、トコフェロール、その他 2 成分

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・使用するまで包装を開けてはいけません。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

●廃棄方法は？

- ・はがしたパッチは、まだ薬の成分が残っているので接着面を内側にして半分に折りたたんでください。必ず、子供の手の届かないところに廃棄してください。
- ・パッチを取り扱った後は、手を洗ってください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社 大塚製薬株式会社 (<http://www.otsuka.co.jp>)

医薬情報センター

電話番号：０１２０－９２２－８３３

受付時間：月～金 ９：００～１７：００

（土、日、祝日、休業日を除く）